

令和4年度 年間授業計画【美術】

教 科 名	美術
学年（年間授業時数）	第1学年（45）
使用教科書（出版社）	美術1（日本文教出版株式会社）
使用副教材（出版社）	感じる 表す 美術（浜島書店）
教科担当者氏名	鈴木 麗海

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観 点	評価規準	評価方法
知 識 技 能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・ 定期考査 ・ 作品 ・ ワークシート ・ 授業観察 など
思 考 判 断 表 現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	・ 定期考査 ・ 作品 ・ ワークシート ・ 授業観察 など
主体的に学習に 取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ 授業観察 ・ 作品への取組 ・ 自己評価 など

4 年間学習計画 《美術:1年》

期	月	時	単元・教材名	学習内容	観点別学習のねらい	
前 期	4	1	オリエンテーション	「図工から美術へ」*教材配布	●道具を知り、記名する。	
		2	デザイン(10) 教p42,43,63・資料集p84,p85	「基本書体のレタリング」 ・文字にいろいろな書体があることを知り、それぞれの違いについて理解する。 ・基本書体(ゴシック・明朝)の書き方を学び、自分の氏名を美しくレタリングする。	●文字の特徴や調和のとれた美しさを理解する。 ●明朝体で自分の名前をレタリングし、道具の生かし方を身に付け、工夫して表現する。	
		3				
		4				
		5				
		6				
		7				
		8				
		9				
		10				
		11				
	6	6	12	色彩基礎・色彩構成(14) 教p71~72 資料集p80~82,3~9	「色彩構成(俳句)」 ・色の三要素、三原色を理解する。 ・12色相環、補色を理解する。 ・様々な対比やトーンを学び、作品を展開する。 ・構図の基礎知識を学ぶ。	●形や色彩が感情にもたらす効果などを理解する。 ●アクリル絵の具の特性などから制作の順序を考えながら、見通しをもって制作を進める。 ●形や色彩などから感じられるよさや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図と工夫について考える。
			13			
			14			
			15			
			16			
			17			
			18			
			19			
			20			
			21			
7	7	22	絵画(7) 教p60・資料集p36~37	「鉛筆デッサン」 ・立方体と球体を描く。 ・身の回りのものを描く。	●鉛筆の特性を理解し、工夫して表現する。 ●対象を観察し、かたちをしっかりとらえる。 ●単色の表現方法を工夫し、描写する。	
		23				
		24				
		25				
		26				
		27				
		28				
後 期	10	29	鑑賞(4) 教科書p30,70 資料集p13,16,47,50,56 134~137,150~155	「印象派の画家を知る」	●画家の作品から造形的な良さや美しさを感じ取り、形や色彩、作者の心情について考える。	
		30				
		31				
	11	11	32	絵画(6) 教科書p30,70 資料集p13,16,47,50,56 134~137,150~155	「自分を描く」 (好きな画家のスタイルで) ・自分と向き合い、姿と心を表現する。 ・似ているかどうかにとらわれず、選んだ画家の気分になり、気持ちを読み取り、自分に置き換え表現する。	●自分自身を表すにふさわしい表現方法を考える。 ●画家の作風を観察し、表現の特徴を見つける。 ●自分好みの画家・作品を見つけ、作者の心情や意図を意識し、自分の作品に反映する。
			33			
			34			
			35			
			36			
			37			
	12	12	38	工芸(7) 教科書p46,47 資料集p102,103	「切り絵のデザインテンプレート」 ・切り絵を通し、黒面の効果的な残し方を考える。 ・鮮やかな発色と、独特のマチエール、ぼかしなど、幅広い方法で表現する。	●使う目的を考え、素材の特性を効果的に生かす工夫をする。 ●プッシュステンドの独特のマチエールを理解し、作品に取り入れる。 ●使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。
			39			
			40			
			41			
			42			
			43			
3	3	44				
		45				

* () 内の数字は配当時間を表す。

令和4年度 年間授業計画【美術】

教 科 名	美術
学年（年間授業時数）	第2学年（35）
使用教科書（出版社）	美術2・3上、美術2・3下（日本文教出版株式会社）
使用副教材（出版社）	感じる 表す 美術（浜島書店）
教科担当者氏名	鈴木 麗海

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観 点	評価規準	評価方法
知 識 技 能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	・定期考査 ・作品 ・ワークシート ・授業観察 など
思 考 判 断 表 現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・定期考査 ・作品 ・ワークシート ・授業観察 など
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・作品への取組 ・自己評価 など

4 年間学習計画 《美術:2年》

期	月	時	単元・教材名	学習内容	観点別学習のねらい
前 期	4	1	絵画(8) 教科書(下) p12 資料集p25,54,154	「コラージュ」 ・モダンテクニックの一つである「コラージュ」という技法について理解を深める。 ・シュルレアリスムの表現を学び、現実を超えた想像の世界を豊かに表す技能を身に付ける。	●コラージュ技法の特徴を理解し、主題に合わせて創造的な構成を考え、効果的に表現する。 ●材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、見通しを持って計画的に制作する。
		2			
		3			
		4			
	5	5			
		6			
		7			
		8			
	6	9	絵画(3) 教科書(下) p11 資料集p25	「モダンテクニック」 ・モダンテクニックの技法を学び、体験的に理解する。	●絵画表現には様々な技法があることを理解し、主題に応じた表現方法を選択し、制作する。
		10			
		11			
		12			
7	12	鑑賞(2) 教科書(上)p60, 資料集p114	「彫刻の歴史」 ・彫刻作品について学ぶ。	●ギリシャ・ローマ時代から現代までの彫刻作品の変遷を理解し、多様な表現方法を学ぶ。	
	13				
	14				
	15				
後 期	9	14	工芸(12) 教科書(上) p42 資料集p98	「スプーン制作」 ・彫刻刀の扱い方を学び、様々な彫り方を利用して制作する。 ・用途や目的に応じたデザインを考え、創ることの喜び、使うことの喜びを感じ取る。 ・持ち手をデザインし、使いやすさ、また、造形美としての美しさを追求する。	●材料や用具の特性などから、制作の順序などを考えながら、見通しを持って制作している。 ●使う目的や条件などを基に、使用することを前提としながらも、ユーモアに富んだ形態を創造し、使いやすさと機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 ●主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
		15			
		16			
		17			
	10	18			
		19			
		20			
		21			
	11	22			
		23			
		24			
		25			
12	26	鑑賞(5) 教科書(下) p22,23,32 資料集p126,127	「ルネサンス・透視図法を学ぶ」 ・ルネサンス時に活躍した画家から表現方法を学ぶ。 ・透視図法を学び、知識として使いながら自由に空間が描けるようにする。	●イタリアルネサンス期を学ぶことで、国や地域、民族によって表現方法や造形感覚に相違があることに気付くとともに、美にあこがれる人間の普遍的な心情などに目を向け、それぞれの美術や文化のよさなどを味わう。 ●ルネサンス期以降の美術における表現の変化を学び、現代の美術の世界にどのような影響を与えたかを知る。	
	27				
	28				
	29				
1	30				
	31	工芸(5) 教科書(下) p36,56 資料集p110	「染色てぬぐい制作」 ・伝統的な藍染めの技法を体験し、染織工芸について理解する。	●伝統文化のよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	
	32				
	33				
34					
3	35				

* () 内の数字は配当時間を表す。

令和4年度 年間授業計画【美術】

教 科 名	美術
学年（年間授業時数）	第3学年（35）
使用教科書（出版社）	美術2・3（開隆堂）
使用副教材（出版社）	感じる 表す 美術（浜島書店）
教科担当者氏名	鈴木 麗海

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観 点	評価規準	評価方法
知 識 技 能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	・ 定期考査 ・ 作品 ・ ワークシート ・ 授業観察 など
思 考 判 断 表 現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・ 定期考査 ・ 作品 ・ ワークシート ・ 授業観察 など
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・ 授業観察 ・ 作品への取組 ・ 自己評価 など

4 年間学習計画 《美術:3年》

期	月	時	単元・教材名	学習内容	観点別学習のねらい	
前 期	4	1	鑑賞(4) 教科書p32,33,90~95 資料集p154~157	「日本の伝統工芸」 ・江戸を中心とした全国の伝統工芸を学び、工芸品の美しさや使う喜びを感じ取る。	●生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深め、目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取る。 ●寺院・仏閣などから日本の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 ●伝統文化のよさや美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 ●「用の美」を意識した、使うことの目的や機能を考え、デザインや構成を考える。 ●用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現している。 ●素材の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現している。	
		2				
		3				
		4				
	5	5				
		6				
		7				
	後 期	6	8	鑑賞(4) 教科書p54,62,63 資料集p118~122		「仏像の美」 ・修学旅行事前準備 ・京都奈良を中心とした国宝(仏像)を学ぶ。
			9			
			10			
		7	11			
			12	工芸(4) 教科書p42,53 資料集p146,147		「沈金の小皿制作」 ・伝統工芸技術の1つである「沈金」を体験し、漆芸について学ぶ。
		13				
		8	14			
15						
16			工芸(10) 教科書p36,37 資料集p102,165	「灯りのデザイン」 ・日本の美をテーマとした和紙ランプを制作する。 ・用途や場面に適したデザインを考え、思い描いたものをかたちにするため技能を身に付ける。		
17						
18						
9	19					
	20					
	21					
	11	22				
		23				
		24				
	12	25				
26		工芸(10)卒業制作 教科書p35 資料集p64,65	「アートガラスの時計制作」 ・中学美術の集大成として、自らの思い出を刻む時計の制作を行う。 ・ニードルの扱い方を理解し、ガラスの表面を削ることで生まれる独特のマチエールを使った表現を学ぶ。			
27						
28						
1				29		
				30		
				31		
2	32					
	33					
	34					
3	35					

* () 内の数字は配当時間を表す。